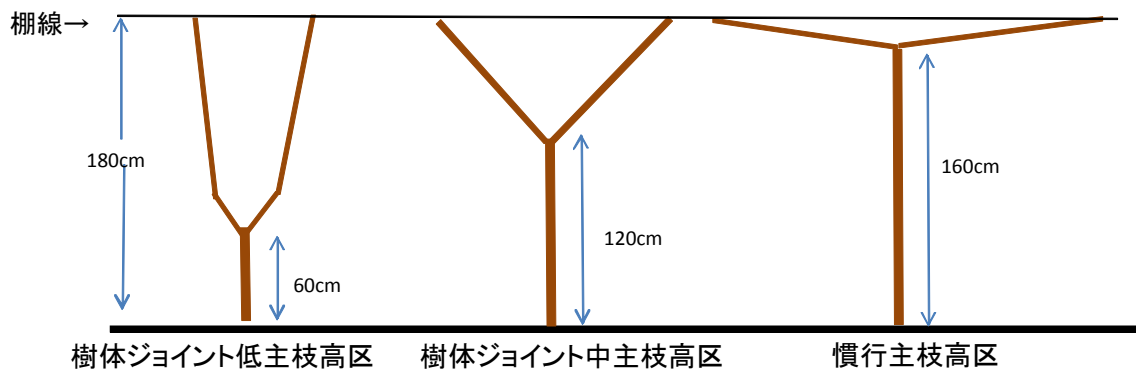


ナシ「改良ジョイント仕立て」でさらに作業が楽になりました！

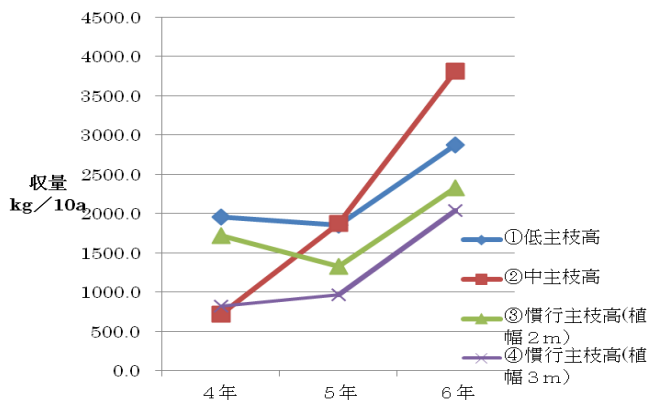
ナシの栽培管理は複雑で熟練が必要ですが、主枝を直線的に連結する「樹体ジョイント仕立て」の導入により、作業の簡易化と収量の増加が可能になりました。そこで、その技術に主枝を低い位置で水平に誘引し、結果枝を斜め上に立ち上げる「改良むかで整枝技術」を組み合わせることで、さらに簡単で、省力で、疲労しにくい上に生産性の高い技術を開発しました。

この技術は、経験の浅い人でも使うことができるため、後継者の就農や生産面積の拡大が進むことが期待できます。

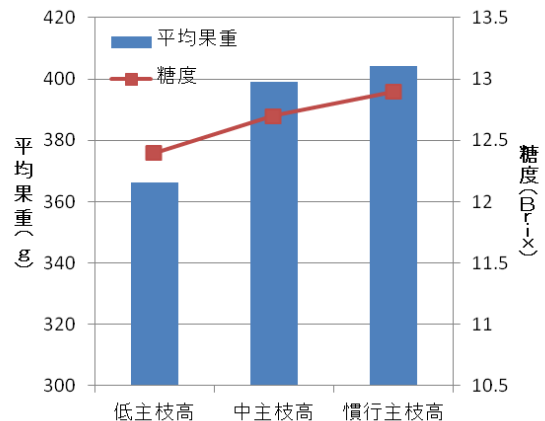
1. 樹体ジョイント仕立てにおける主枝高別模式図



2. 仕立て方と収量及び品質



【幸水の仕立て方と経年的収量の変化】



【幸水の仕立て方と果実品質】



☆経営的有利性から「中主枝高仕立て」と「慣行主枝高仕立て」が優れていました。「低主枝高仕立て」は、収量は多いものの果実重、糖度が劣りました。

☆そして、「中主枝高仕立て」が最も楽な姿勢で、かつ効率的に作業が行えるため、経験の浅い方に推奨します。